

# 総合安全保障研究科前期課程第25期学生 選抜筆記試験問題

## 国際関係論

次の2問に答えよ。

問1 新型コロナウイルス（COVID-19）のパンデミックが国際関係に及ぼしつつある影響について、国際関係の変化と継続性の両面に目を配りつつ論ぜよ。その際、国際関係論における理論や概念をできるだけ援用すること。

問2 以下の語句の少なくとも3つ以上を使って国家間関係の危機について述べよ。  
使用した語句に下線を引くこと（答案の文中に下線を引くこと）。

瀬戸際外交 チキンゲーム（弱虫ゲームでもよい） デッドロック コミットメント  
タイピング・ハンズ キューバ危機 先手 譲歩 はったり（ブラフでもよい）  
信憑性（credibility）

## 国際政治史

次の2問に答えよ。

問1 英国と米国の外交関係は「特別な関係」（Special Relationship）といわれることが多い。第1次世界大戦から戦間期、第2次世界大戦、冷戦を経て現在までの英米関係の理念と現実を分析せよ。

問2 1990年代初頭の冷戦終結が、米国と東アジア、または東南アジアとの関係にもたらした影響について論じよ。（なお、特定の二国間関係を取り上げてよいし、広く地域との関係を扱ってもよい）

# 公共経済学

次の2問に答えよ。

問1 売り手と買い手の間に、情報の非対称性がある状況を考える。このとき、市場ではどのような問題が生じるか。また、その問題を解消する手段としてはいかなるものが考えられるか。これらについて論じなさい。

問2 国家を合理的な意思決定主体と仮定した場合、その国家間において武力衝突が起こる原因について経済学的に論じなさい。

# 憲 法

次の2問に答えよ。

問1 我が国において、公務員には政治的表現の自由に一定の制限があり、自衛官にも当然に制限がある。自衛官の政治的意見表明の自由の制限は、一般の文民公務員と同じと考えるべきか、あるいは自衛官としての地位の特殊性から、これとは異なる点があると考えられるべきか、論じなさい。（論述においては、根拠となる憲法学説、防衛関係法令、判例等を具体的に踏まえること。）

問2 自衛隊に対する文民統制は日本国憲法の定める統治機構の下でどのように法制度上担保されているか整理しながら解説しなさい。

# 国 際 法

次の2問に答えよ。

問1 外交使節団に国際法上認められる特権免除について、説明しなさい。

問2 武力紛争に適用される国際法を類型化して論じなさい。

# 組織管理論

次の2問に答えよ。

問1 リーダーシップとモチベーションについて、以下のキーワードをできるだけ多く説明しながら述べなさい。平易な文章で論理的に述べること。

地位のパワー (legitimate power)、報酬のパワー (reward power)、処罰のパワー (coercive power)、能力のパワー (expert power)、人間力のパワー (referent power)、PM 理論、集団インセンティブ・個人インセンティブ、加点主義・減点主義、「褒める」・「叱る」、平均への回帰、内発的モチベーション・外発的モチベーション、心理的リアクタンス (psychological reactance)、期待理論 (expectancy theory)、目標設定理論 (goal setting theory)、公平理論 (equity theory)、達成欲求 (need for achievement)、親和欲求 (need for affiliation)、権力欲求 (need for power)

問2 官僚制の逆機能とその解決策について、具体例を挙げながら論述しなさい。

# 行 政 学

次の2問に答えよ。

問1 M.ウェーバーの官僚制論について詳しく説明したうえで、近代官僚制の弊害と考えられるいわゆる「官僚制の逆機能」についても述べよ。

問2 知事の権力はときに内閣総理大臣のそれよりも強いとすらいわれることがある。知事の権力の基盤はいったい何か、詳しく説明せよ。